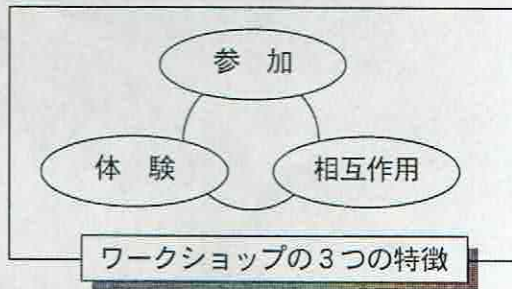


### ワークショップとは？

「ワークショップとは、講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学び合ったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイル」



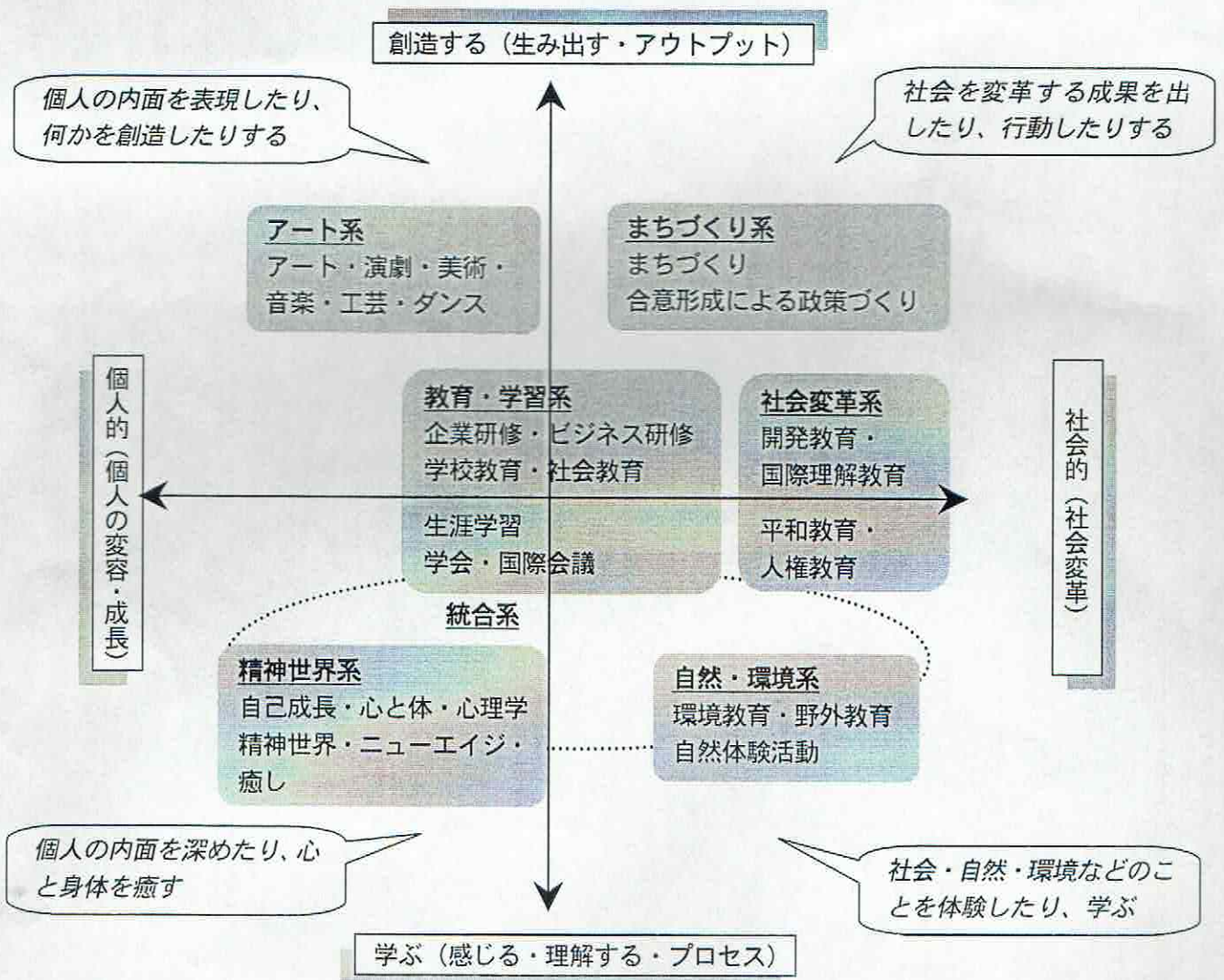
参加 ⇒ 主体的な学びの場へのかかわり

体験 ⇒ 経験学習のサイクル

相互作用 ⇒ 他者との関わりで学ぶ

(『ファシリテーション革命』岩波アクティブ新書、中野民夫、2003年)

### ワークショップ分類の試み



(『ワークショップ』岩波新書、中野民夫、2001年)

## ファシリテーターであるために望ましい条件

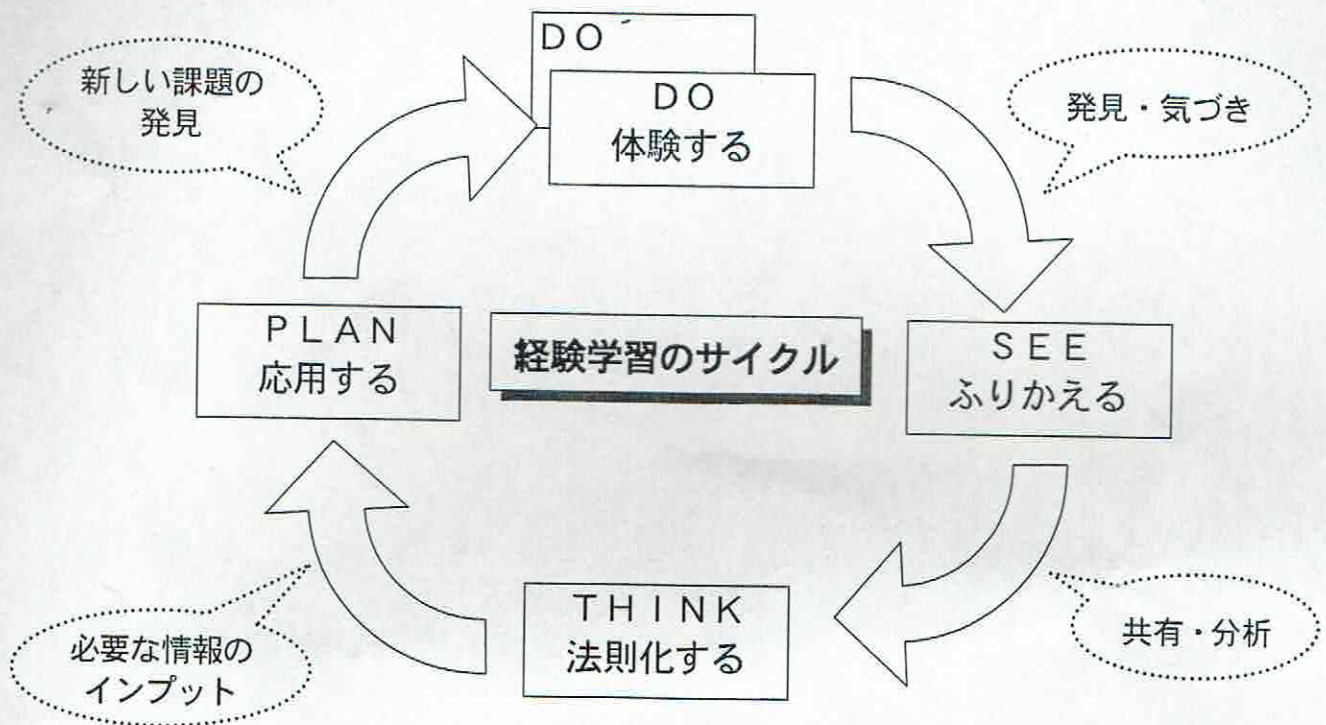
西田真哉さん作成

- 主体的にその場に存在している。
- 柔軟性と決断する勇気がある。
- 他者の枠組みで把握する努力ができる。
- 表現力の豊かさ、参加者への反応の明確さがある。
- 評価的な言動は慎むべきとわきまえている。
- プロセスへの介入を理解し、必要に応じて実行できる。
- 相互理解のための自己開示を率先できる、<sup>解放性</sup>がある。
- 親密性、楽天性がある。
- 自己の間違いや知らないことを認めることに素直である。
- 参加者を信頼し、尊重する。

ファシリテーター =  
自身のこと



経験学習 (体験学習) の4つのステップ



ワークショップでの「わたし・あなた・みんな」

	ワークショップの基本	人権教育の3つの柱	ファシリテーターに大切なこと
わたし	自己理解	わたしがわたし自身を大切にす	自分自身を知り、引き受ける
あなた	他者理解・相互理解	わたしとあなたがお互いを尊重する	参加者の力を信頼する
みんな	課題の共有と解決	みんなと一緒に社会をよくしていく	ともに学び、変革するために問いかける

どっいうふうな  
未来を創りたいのか

アクティビティとプログラム

アクティビティ：一つひとつの学習活動のこと。

プログラム：アクティビティを組み合わせでつくった学習の流れ。